



株式会社フィッシュパスとの協働による 「ネイチャーポジティブ地域実証」について

亀山市は、株式会社フィッシュパスと協働し、最先端の「環境DNA分析技術を活用したネイチャーポジティブ地域実証」を11月から開始します。

本市は、生物多様性の保全を重要施策の一つと位置付け、令和3年に「生物多様性地域戦略」を策定するほか、令和5年から市独自の「かめやま生物多様性共生区域認定制度」の運用を開始、さらには、令和7年6月に「亀山市ネイチャーポジティブ宣言」を発表するなど、先進的な取り組みを推進しています。

このたび、本年4月に「ネイチャーポジティブの実現に向けたまちづくり推進に係る連携協定」を締結した株式会社百五銀行から、三重県が実施する「令和8年度みえスタートアップ実証実験サポート事業」の参加企業として決定を受けた株式会社フィッシュパスとの協働の提案を受け、同社が有する環境DNA分析技術を活用した地域実証を開始することとなりました。

環境DNA分析技術は、河川や水路などで採取した水の中に溶け込むDNAを調べることで、そこに生息する生き物を網羅的に特定することができる技術です。本実証では、その技術を活用し、市域の生物多様性の状況を把握するとともに、市内で実施される生物多様性保全活動の成果を客観的に評価する手法を確立します。なお、11月6日(金)10時から、市内の河川において初回の採水調査を実施します。

今後も、本実証事業をはじめ、様々な取り組みを推進することで、市域におけるネイチャーポジティブを実現し、生物多様性の保全と経済発展が両立した持続可能なまちづくりを目指してまいります。

本実証事業について詳しくは、別紙資料をご覧ください。